

令和5年度事業報告

社会福祉法人 光輪会
なかよしこども園

児童処遇
1、園児クラス編成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
1歳児	12	12	12	12	12	11	12	12	12	12	12	12	143
2歳児	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	208
3歳児 (2号)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
3歳児 (1号)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
4歳児 (2号)	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
4歳児 (1号)	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	66
5歳児 (2号)	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
5歳児 (1号)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
合計	99	99	99	99	98	97	99	99	99	99	99	99	1185

一時 預かり 保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	4	7	5	5	6	16	22	11	5	8			89



子ども達主体の
お店屋さんごっこ



2、健康管理

定期健康診断(5月・12月)
歯科検診(5月)
身体測定(4・7・12・3月)
(身長・体重)

3、栄養管理

給食食事の指導指針

- ◎ お箸の持ち方や食器の置き方を正しく教えた。
- ◎ 0歳児は指先の訓練のために手掴み食べも積極的に行った。
- ◎ かむときは、口を閉じて奥歯でしっかりと噛ませた。
- ◎ 幼児はお当番を決め順番に保育士の手伝いをした。
- ◎ 食事中は行儀よくこぼさずに楽しくいただいた。
- ◎ 三角食で、好き嫌いをしないようにした。
- ◎ 栄養士が保育教諭と常に連携をとりながら、食育指導に取り組んだ。
食育年間計画を参照(最終頁)



栄養値

	エネルギー	たんぱく質	脂質
3歳児未満	500kcal	15.8g	13.9g
3歳以上児	585kcal	18.5g	16.2g

4、給食内容

光輪会の食に関する理念

- 1、清く、正しく、情け深い人格形成を目指し、子どもたちの食に関わる。
 - 2、愛と夢と情熱をもって、日本、そして世界を背負っていった人材を食を通して育成していく。
 - 3、食を通して、社会に貢献できる人を育てる。
- この理念を踏まえて、光輪会の食に対する基本的な方針、達成させていきたい目標を定める。

食に対する方針

○光輪会の食として、自信を持って提供できる「子どもたちが生涯忘れることのない故郷の味」を伝えていき、作物への感謝、作って頂く方への感謝を伝えていく。

食に対する目標

- 1、乳幼児期に必要な選食力を身に付けた
: 私たちの行っている乳幼児教育は食形成、身体形成を培ううえで大切な時期である。この時期に選食力を身に付け食に関わる全ての人への感謝の心を育てる。
 - ・三色群の指導の徹底。
 - ・素材の味を伝え、野菜の味を脳にすり込んでいく。
 - 2、日本の美しい四季を感じられる給食
: 素材の味を生かした味付けで日本ならではの和食を四季を通して提供して
 - ・旬の食材を生かした食の提供。
 - ・日本の行事を通して食を伝えた。(平常食と特別食)
 - ・ごはん、味噌汁、おかずが基本の給食を提供した。
 - 3、食の関心を育てる
: 食への関心を持ち、食の知識を得て食材に触れ、食体験を通じて好き嫌いの無い子どもを育てる。
 - ・畑で作物を育て収穫し、クッキングまでの一貫した食育を行った。
 - 4、食に対する知識やマナーを培う
: 食に対する知識やマナーを知り、食を通して健康な体づくり、心豊かな人格形成づくりを目指した。
 - ・体の仕組みを伝え、摂取から排泄までの仕組みを知った。
 - ・手洗い、箸使い、三色食品群、三角食べの指導を行った。
- この目標を達成できるように、園長、主幹保育教諭、保育教諭、給食従事者、全ての職員が一体となり、共通理解のもと子どもたちの食に対して取り組んだ。



5、衛 生

- ◎ 強酸性水及び強アルカリ水の電解水生成機で食品の消毒及び洗浄を行った。
- ◎ 調理前、用便後、汚物取り扱い後は、手指の消毒を行った
- ◎ 白衣、三角巾の着用および衣服は清潔なものを使用した。
- ◎ 毎月1回細菌検査(検便)を行った。
- ◎ 食器の洗浄、消毒を行った。
- ◎ 調理室の整理整頓に気をつけた。
- ◎ 食品は、衛生的な店で買い、納入後は直ちに冷蔵庫に入れた。
- ◎ 食品は前日に調理したり、残ったものを翌日に繰り越したりしない。
- ◎ 検食は児童の食べる前に行った。
- ◎ 保存食は、2週間冷凍保存した。
- ◎ 加熱調理は、中心温度計を使用し、80℃以上(75℃、1分以上)を確認した。
- ◎ 食器洗浄機で、より衛生的に食器の保存を行った。

6、保 育

年間指導計画、月間指導計画、週案、日案に従った系統的、計画的に保育を行った。

- ◎ 挨拶のしっかりできる子どもに育つようしどうをおこなった。
- ◎ 絵本や紙芝居の読み聞かせを教育・保育の中心とし多く取り入れ、ともに感動し、命の尊さ、人に対する思いが育つよう教育を強化して行った。
- ◎ 乳児の保育にあたっては、愛されているということをしかり受け止められるよう、スキンシップ、声がけに十分な配慮をし愛着形成を行った。
- ◎ いろいろな行事や活動を通し成功体験を積み、協調性、創意工夫、意欲、元気、満足感、達成感を十分に味わえたよアクティブ・ラーニングの保育を行っていった。
- ◎ 3～5歳児：専門の講師による英語・リトミック・合唱・和太鼓・数の認識の指導を行った。
- ◎ 3～5歳児：退化してしまった筋力を呼び覚ますよう体育指導も行った。
- ◎ 和太鼓を近隣の行事に参加し積極的に発表した。



7、安全管理

- ◎ 朝の掃除の際に必ず、園庭および外遊び遊具の点検、整備を行った。
- ◎ インターホンカメラを設置し顔を確認してから玄関を開けた。
- ◎ 監視カメラを設置し不審者を管理した。
- ◎ 警備会社のセコムと契約し、防犯、防災に対して24時間体制を確立した。
- ◎ 110番通報装置を設置し不審者に備えた。
- ◎ 年に数回防犯訓練を行い、不審者が侵入した場合に備えた。
- ◎ ホールなどの備品、遊戯の安全確認をした。
- ◎ 遊具、運動用具、おもちゃなどの正しい使い方を指導した。
- ◎ 廊下の正しい歩き方などを教えた。
- ◎ プール遊び、水遊びなど指導および諸注意などの確認をした。
- ◎ 冷暖房器具の点検と正しい使用方法を確認した。
- ◎ 備品、遊具、玩具などの破損点検と整理整頓を行った。
- ◎ ガラス破損(物を投げる、悪ふざけ、ボールをぶつけたなど)の防止をした。
- ◎ 非常口の管理及び確保を徹底した。



交通安全指導員の皆さんに交通安全教室を開催していただきました。
横断歩道の歩き方など安全について教えていただきました。

なかよしこども園の畑で作った
大根を親子で収穫しました。

2、健康管理

乳幼児の健全な育成のためには、職員自身の健康が第一である。
職員の健康管理についても、十分に留意していった。

定期健康診断	毎年1回	正職員(35歳、40歳以上の正職員に対してはこのほかに心電図の検査を行った)非常勤職員同じく行った。
検便	毎月 4月、6月、12月、2月	給食従事者・0歳児職員 職員全員

その他、必要に応じて臨時健康診断を行った。

3、処遇会議

職員会議	毎月1回	職員全員(事例検討会議)
乳児会議	毎月1回	0・1・2歳児・一時預かり職員
幼児会議	毎月1回	3・4・5歳児職員
支援センター会議	毎月1回	センター担当職員
アレルギー食会議	年2回	保護者・担任及び栄養士

4、福利厚生

ソウエルクラブ	全額 園負担
懇親会	園負担分については支払額の半額以上超えないものとした
研修会	全額 園負担
慶弔費	就業規則に記載

5、研修計画

令和5年度研修報告

月日	対象地域	主催	研修内容	対象
5月	西部地区	埼玉県保育協議会西部地区	総会及び研修会(不適切保育について)	園長・職員
5月	ほよう会	会員園	新人研修研修会(ふじま幼稚園)	園長及び3年未満職員
6月	埼玉県	埼玉県保育協議会	養成委員会研修	園長・職員
6月	埼玉県	日本保育協会埼玉県支部	県内研修会(ヌエック)	園長・職員
6月	西部地区	埼玉県保育協議会	養成校情報交換会	園長・職員
6月	若狭地区	若狭4丁目自治会	4丁目自主防災訓練	園長・職員
7月	関東地区	関東ブロック保育協議会	関東地区保育研究大会(横浜大会)	園長・職員
9月	埼玉県	埼玉県保育協議会	ZOOM開催	園長・職員
11月	西部地区	日本保育協会西部地区	西部地区(困難ケースの保護者対応)	園長・職員
06年1月	埼玉県	埼玉県保育協議会	新春研修会	園長・職員
6年1月	埼玉県	埼玉県保育協議会	緊急研修会(不適切保育ZOOM)	園長・職員
06年2月	西部地区	日本保育協会西部地区	西部地区研修会、施設運営者情報交換	園長
06年2月	所沢市	所沢市教育センター	保育園・幼稚園・小学校職員対象研修会	園長・年長担当
06年2月	埼玉県	千葉県保育協議会	保育士の専門性を高める研修会	理事長



保 護 者

1、内定面接

- ① 所沢市より内定の園児が通知された。
- ② こども園と内定者の保護者とで内定面接の日程を打ち合わせた。
- ③ 内定者と保護者に対して園長・主幹保育教諭がしおりをもとに面接をした。
- ④ 保護者に対して園の様子を説明したり、保育時間の確認をした。
- ⑤ お互いに問題がない場合は、園が所沢市に対して、受託の決定を報告した。



2、受け入れ保育期間

基本的には1週間。

ただし、保護者勤務状況及び園児の体調を考慮し期間を変更したことがあった。

3、保育参加等

保育参加 年1回（年齢によって指定）その他希望者には相談により行った。
個人面談 年1回（年長9月、他の児童2月）

4、行事への参加

春の親子運動会、地域行事への参加、お遊戯会、
お別れ会等への参加協力 三ヶ島地区ボランティア協会の行事

5、保護者の行事へのお手伝い

運動会3歳以上の園児の保護者の方にお手伝いをお願いした。



災害対策

- 1、避難消火訓練毎月1回実施（別紙参照）
- 2、総合避難訓練(年2回)
- 3、防災設備の点検

地域社会との関連

- 1、近隣自治会行事への参加
- 2、三ヶ島地区福祉部会への参加
- 3、小学校訪問
- 4、小学生の社会体験学習受け入れた
- 5、中学生の職場体験受け入れた
- 6、保育士・調理師・栄養士の養成校実習の受け入れた
- 7、高校の職場体験受け入れた
- 8、ボランティアの受け入れを行った
- 9、民生委員様との交流
- 10、三ヶ島地区老人施設への慰問
- 11、その他地域との交流の積極的な参加



令和5年度事業報告

社会福祉法人 光輪会
第二なかよしこども園

児童処遇
1、園児クラス編成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
1歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
2歳児	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	142
3歳児 (2号)	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
3歳児 (1号)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
4歳児 (2号)	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
4歳児 (1号)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
5歳児 (2号)	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	166
5歳児 (1号)	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	62
合計	69	69	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	838

一時 預かり 保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
		21	7	9	5	8	8	7	9	3	7		



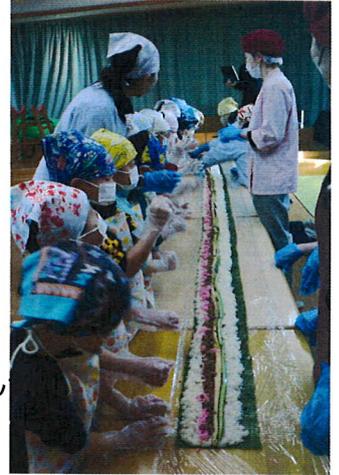
2、健康管理

定期健康診断(5月・12月)
歯科検診(5月)
身体測定(4・7・12・3月)
(身長・体重)

3、栄養管理

給食食事の指導指針

- ◎ お箸の持ち方や食器の置き方を正しく教えた。
- ◎ 0歳児は指先の訓練のために手掴み食でも積極的に行った。
- ◎ かむときは、口を閉じて奥歯でしっかりと噛ませた。
- ◎ 幼児はお当番を決め順番に保育士の手伝いをした。
- ◎ 食事中は行儀よくこぼさずに楽しくいただいた。
- ◎ 三角食で、好き嫌いをしないようにした。
- ◎ 栄養士が保育教諭と常に連携をとりながら、食育指導に取り組む食育年間計画を参照(最終頁)



栄養値

	エネルギー	たんぱく質	脂質
3歳児未満	500kcal	15.8g	13.9g
3歳以上児	585kcal	18.5g	16.2g

4、給食内容

元輪会の食に関する理念

- 1、清く、正しく、情け深い人格形成を目指し、子どもたちの食に関わる。
 - 2、愛と夢と情熱をもって、日本、そして世界を背負っていった人材を食を通して育成していく。
 - 3、食を通して、社会に貢献できる人を育てる。
- この理念を踏まえて、光輪会の食に対する基本的な方針、達成させていきたい目標を定める。

食に対する方針

○光輪会の食として、自信を持って提供できる「子どもたちが生涯忘れることのない故郷の味」を伝えていき、作物への感謝、作って頂く方への感謝を伝えていく。

食に対する目標

- 1、乳幼児期に必要な選食力を身に付けた
：私たちの行っている乳幼児教育は食形成、身体形成を培ううえで大切な時期である。この時期に選食力を身に付け食に関わる全ての人への感謝の心を育てる。
 - ・三色群の指導の徹底。
 - ・素材の味を伝え、野菜の味を脳にすり込んでいく。
 - 2、日本の美しい四季を感じられる給食
：素材の味を生かした味付けで日本ならではの和食を四季を通して提供して
 - ・旬の食材を生かした食の提供。
 - ・日本の行事を通して食を伝えた。(平常食と特別食)
 - ・ごはん、味噌汁、おかずが基本の給食を提供した。
 - 3、食の関心を育てる
：食への関心を持ち、食の知識を得て食材に触れ、食体験を通じて好き嫌いの無い子どもを育てる。
 - ・畑で作物を育て収穫し、クッキングまでの一貫した食育を行った。
 - 4、食に対する知識やマナーを培う
：食に対する知識やマナーを知り、食を通して健康な体づくり、心豊かな人格形成づくりを目指した。
 - ・体の仕組みを伝え、摂取から排泄までの仕組みを知った。
 - ・手洗い、箸使い、三色食品群、三角食への指導を行った。
- この目標を達成できるように、園長、主幹保育教諭、保育教諭、給食従事者、全ての職員が一体となり 共通理解のもと子どもたちの食に対して取り組んだ。



5、衛 生

- ◎ 強酸性水及び強アルカリ水の電解水生成機で食品の消毒及び洗浄を行った。
- ◎ 調理前、用便後、汚物取り扱い後は、手指の消毒を行った
- ◎ 白衣、三角巾の着用および衣服は清潔なものを使用した。
- ◎ 毎月1回細菌検査(検便)を行った。
- ◎ 食器の洗浄、消毒を行った。
- ◎ 調理室の整理整頓に気をつけた。
- ◎ 食品は、衛生な店で買い、納入後は直ちに冷蔵庫に入れた。
- ◎ 食品は前日に調理したり、残ったものを翌日に繰り越したりしない。
- ◎ 検食は児童の食べる前に行った。
- ◎ 保存食は、2週間冷凍保存した。
- ◎ 加熱調理は、中心温度計を使用し、80℃以上(75℃、1分以上)を確認した。
- ◎ 食器洗浄機で、より衛生的に食器の保存を行った。

6、保 育

年間指導計画、月間指導計画、週案、日案に従った系統的、計画的に保育を行った。

- ◎ 挨拶のしっかりできる子どもに育つようしどうをおこなった。
- ◎ 絵本や紙芝居の読み聞かせを教育・保育の中心とし多く取り入れ、ともに感動し、命の尊さ、人に対する思いが育つよう教育を強化して行った。
- ◎ 乳児の保育にあたっては、愛されているということをしっかり受け止められるよう、スキンシップ、声かけに十分な配慮をし愛着形成を行った。
- ◎ いろいろな行事や活動を通し成功体験を積み、協調性、創意工夫、意欲、元気、満足感、達成感を十分に味わえたよアクティブ・ラーニングの保育を行っていった。
- ◎ 3～5歳児:専門の講師による英語・リトミック・合唱・和太鼓・数の認識の指導を行った。
- ◎ 3～5歳児:退化してしまった筋力を呼び覚ますよう体育指導も行った。
- ◎ 和太鼓を近隣の行事に参加し積極的に発表した。



7、安全管理

- ◎ 朝の掃除の際に必ず、園庭および外遊び遊具の点検、整備を行った。
- ◎ インターホンカメラを設置し顔を確認してから玄関を開けた。
- ◎ 監視カメラを設置し不審者を管理した。
- ◎ 警備会社のセコムと契約し、防犯、防災に対して24時間体制を確立した。
- ◎ 110番通報装置を設置し不審者に備えた。
- ◎ 年に数回防犯訓練を行い、不審者が侵入した場合に備えた。
- ◎ ホールなどの備品、遊戯の安全確認をした。
- ◎ 遊具、運動用具、おもちゃなどの正しい使い方を指導した。
- ◎ 廊下の正しい歩き方などを教えた。
- ◎ プール遊び、水遊びなど指導および諸注意などの確認をした。
- ◎ 冷暖房器具の点検と正しい使用方法を確認した。
- ◎ 備品、遊具、玩具などの破損点検と整理整頓を行った。
- ◎ ガラス破損(物を投げる、悪ふざけ、ボールをぶつけたなど)の防止をした。
- ◎ 非常口の管理及び確保を徹底した。



2、健康管理

乳幼児の健全な育成のためには、職員自身の健康が第一である。
職員の健康管理についても、十分に留意していった。

定期健康診断	毎年1回	正職員(35歳、40歳以上の正職員に対してはこのほかに心電図の検査を行った)非常勤職員同じく行った。
検便	毎月 4月、6月、12月、2月	給食従事者・0歳児職員 職員全員

その他、必要に応じて臨時健康診断を行った。

職員会議	毎月1回	職員全員(事例検討会議)
乳児会議	毎月1回	0・1・2歳児・一時預かり職員
幼児会議	毎月1回	3・4・5歳児職員
支援センター会議	毎月1回	センター担当職員
アレルギー食会議	年2回	保護者・担任及び栄養士

4、福利厚生

ソウエルクラブ	全額 園負担
懇親会	園負担分については支払額の半額以上超えないものとした
研修会	全額 園負担
慶弔費	就業規則に記載

5、研修計画

令和5年度研修報告

月日	対象地域	主催	研修内容	対象
5月	西部地区	埼玉県保育協議会西部地区	総会及び研修会(不適切保育について)	園長・職員
5月	ほよう会	会員園	新人研修研修会(ふじま幼稚園)	園長及び3年未満職員
6月	埼玉県	埼玉県保育協議会	養成委員会研修	園長・職員
6月	埼玉県	日本保育協会埼玉県支部	県内研修会(ヌエック)	園長・職員
6月	西部地区	埼玉県保育協議会	養成校情報交換会	園長・職員
6月	若狭地区	若狭4丁目自治会	4丁目自主防災訓練	園長・職員
7月	関東地区	関東ブロック保育協議会	関東地区保育研究大会(横浜大会)	園長・職員
9月	埼玉県	埼玉県保育協議会	ZOOM開催	園長・職員
11月	西部地区	日本保育協会西部地区	西部地区(困難ケースの保護者対応)	園長・職員
06年1月	埼玉県	埼玉県保育協議会	新春研修会	園長・職員
6年1月	埼玉県	埼玉県保育協議会	緊急研修会(不適切保育ZOOM)	園長・職員
06年2月	西部地区	日本保育協会西部地区	西部地区研修会、施設運営者情報交換	園長
06年2月	所沢市	所沢市教育センター	保育園・幼稚園・小学校職員対象研修会	園長・年長担当
06年2月	埼玉県	千葉県保育協議会	保育士の専門性を高める研修会	理事長



保 護 者

1、内定面接

- ① 所沢市より内定の園児が通知された。
- ② こども園と内定者の保護者とで内定面接の日程を打ち合わせた。
- ③ 内定者と保護者に対して園長・主幹保育教諭がしおりをもとに面接をした。
- ④ 保護者に対して園の様子を説明したり、保育時間の確認をした。
- ⑤ お互いに問題がない場合は、園が所沢市に対して、受託の決定を報告した。

2、受け入れ保育期間

基本的には1週間。

ただし、保護者勤務状況及び園児の体調を考慮し期間を変更したことがあった。

3、保育参加等

保育参加 年1回（年齢によって指定）その他希望者には相談により行った。
個人面談 年1回（年長9月、他の児童2月）

4、行事への参加

春の親子運動会、地域行事への参加、お遊戯会、
お別れ会等への参加協力 三ヶ島地区ボランティア協会の行事

5、保護者の行事へのお手伝い

運動会3歳以上の園児の保護者の方にお手伝いをお願いした。

災害対策

- 1、避難消火訓練毎月1回実施（別紙参照）
- 2、総合避難訓練(年2回)
- 3、防災設備の点検

地域社会との関連

- 1、近隣自治会行事への参加
- 2、三ヶ島地区福祉部会への参加
- 3、小学校訪問
- 4、小学生の社会体験学習受け入れた
- 5、中学生の職場体験受け入れた
- 6、保育士・調理師・栄養士の養成校実習の受け入れた
- 7、高校の職場体験受け入れた
- 8、ボランティアの受け入れを行った
- 9、民生委員様との交流
- 10、三ヶ島地区老人施設への慰問
- 11、その他地域との交流の積極的な参加



令和5年度事業報告

社会福祉法人 光輪会
和光なかよしこども園

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 光輪会
和光なかよしこども園

※施設運営

児童処遇

1、園児クラス編成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	3	3	3	3	3	3	4	5	6	6	6	6	51
1歳児	8	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	95
2歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
3歳児 (2号)	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
3歳児 (1号)	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	39
4歳児 (2号)	20	19	19	19	19	20	20	20	20	20	20	20	236
4歳児 (1号)	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	45
5歳児 (2号)	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
5歳児 (1号)	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	31
合計	89	87	88	88	88	90	91	92	93	93	93	93	1085

一時 預かり 保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	0	4	5	3	0	7	4	3	2	4	6	0	38

2、健康管理

定期健康診断(5月・12月)
歯科検診(5月)
身体測定(4・7・12・3月)
(身長・体重)

3、栄養管理

給食食事の指導指針

- ◎ お箸の持ち方や食器の置き方を正しく教らた。
- ◎ 0歳児は指先の訓練のために手掴み食べも積極的にした。
- ◎ かむときは、口を閉じて奥歯でしっかりと噛ました。
- ◎ 幼児はお当番を決め順番に保育士の手伝いをした。
- ◎ 食事中は行儀よくこぼさずに楽しくいただく。
- ◎ 三角食で、好き嫌いをしないようにした。
- ◎ 栄養士が保育教諭と常に連携をとりながら、食育指導に取り組んでいる。
食育年間計画を参照(最終頁)

栄養値

	エネルギー	たんぱく質	脂質
3歳児未満	500kcal	15.8g	13.9g
3歳以上児	585kcal	18.5g	16.2g

4、給食内容

光輪会の食に関する理念

- 1、清く、正しく、情け深い人格形成を目指し、子どもたちの食に関わる。
- 2、愛と夢と情熱をもって、日本、そして世界を背負っていける人材を食を通して育成して行った。
- 3、食を通して、社会に貢献できる人を育てる。

この理念を踏まえて、光輪会の食に対する基本的な方針、達成させていきたい目標を定める。

食に対する方針

○光輪会の食として、自信を持って提供できる「子どもたちが生涯忘れたことのない故郷の味」を伝えていき、作物への感謝、作って頂く方への感謝を伝えて行った。

食に対する目標

- 1、乳幼児期に必要な選食力を身に付ける
: 私たちの行っている乳幼児教育は食形成、身体形成を培ううえで大切な時期である。この時期に選食力を身に付け食に関わる全ての人への感謝の心を育てる。
 - ・三色群の指導の徹底。
 - ・素材の味を伝え、野菜の味を脳にすり込んで行った。
 - 2、日本の美しい四季を感じられた給食
: 素材の味を生かした味付けで日本ならではの和食を四季を通して提供して行った。
 - ・旬の食材を生かした食の提供。
 - ・日本の行事を通して食を伝らた。(平常食と特別食)
 - ・ごはん、味噌汁、おかずが基本の給食を提供した。
 - 3、食の関心を育てる
: 食への関心を持ち、食の知識を得て食材に触れ、食体験を通じて好き嫌いの無い子どもを育てる。
 - ・畑で作物を育て収穫し、クッキングまでの一貫した食育を行った。
 - 4、食に対する知識やマナーを培う
: 食に対する知識やマナーを知り、食を通して健康な体づくり、心豊かな人格形成づくりを目指す。
 - ・体の仕組みを伝え、摂取から排泄までの仕組みを知る。
 - ・手洗い、箸使い、三色食品群、三角食べの指導を行った。
- この目標を達成できるように、園長、主幹保育教諭、保育教諭、給食従事者、全ての職員が一体となり、共通理解のもと子どもたちの食に対して取り組む。

5、衛 生

- ◎ 調理前、用便後、汚物取り扱い後は、手指の消毒を行った
- ◎ 白衣、三角巾の着用および衣服は清潔なものを使用した。
- ◎ 毎月1回細菌検査(検便)を行った。
- ◎ 食器の洗浄、消毒を行った。
- ◎ 調理室の整理整頓に気をつける。
- ◎ 食品は、衛生な店で買い、納入後は直ちに冷蔵庫に入れた。
- ◎ 食品は前日に調理したり、残ったものを翌日に繰り越したりしない。
- ◎ 検食は児童の食べる前に行った。
- ◎ 保存食は、2週間冷凍保存した。
- ◎ 加熱調理は、中心温度計を使用し、80℃以上(75℃、1分以上)を確認した。
- ◎ 食器洗浄機で、より衛生的に食器の保存を行った

6、保 育

年間指導計画、月間指導計画、週案、日案に従った系統的、計画的保育をした。

- ◎ 挨拶のしっかりできる子どもに育てる(おはようございます、ありがとう、おねがいします、ごめんなさい等)。
- ◎ 絵本や紙芝居の読み聞かせを教育・保育の中心とし多く取り入れ、ともに感動し、命の尊さ、人に対する思いやり、そうした心の教育を強化して行った。
- ◎ 乳児の保育にあたっては、愛されているということをしっかり受け止められたよう、スキンシップ、声がけに十分な配慮をし愛着形成を行った。
- ◎ いろいろな行事や活動を通し成功体験を積み、協調性、創意工夫、意欲、元気、満足感、達成感を十分に味わったよアクティブ・ラーニングの保育を行った。
- ◎ 3～5歳児:専門の講師による英語・リトミック・合唱の指導を行った。
- ◎ 3～5歳児:退化してしまった筋力を呼び覚ますようなサーキット運動を毎日行い、体育指導も年に数回受ける。

7、安全管理

- ◎ 朝の掃除の際に必ず、園庭および外遊び遊具の点検、整備を行った。
- ◎ インターホンカメラを設置し顔を確認してから玄関を開ける。
- ◎ 監視カメラを設置し不審者を管理した
- ◎ 警備会社のセコムと契約し、防犯、防災に対して24時間体制を確立した。
- ◎ 年に数回防犯訓練を行い、不審者が侵入した場合に備らた
- ◎ ホールなどの備品、遊戯の安全確認をした
- ◎ 遊具、運動用具、おもちゃなどの正しい使い方を指導した。
- ◎ 廊下の正しい歩き方などを教らた。
- ◎ プール遊び、水遊びなど指導および諸注意などの確認をした。
- ◎ 冷暖房器具の点検と正しい使用方法を確認した。
- ◎ 備品、遊具、玩具などの破損点検と整理整頓を行った。
- ◎ ガラス破損(物を投げる、悪ふざけ、ボールをぶつけるなど)の防止
- ◎ 非常口の管理及び確保を徹底した。

2、健康管理

乳幼児の健全な育成のためには、職員自身の健康が第一である。
職員の健康管理についても、十分に留意していった。

定期健康診断	毎年1回	正職員(35歳、40歳以上の正職員に対してはこのほかに心電図の検査を行った)非常勤職員同じく行った。
検便	毎月 4月、6月、12月、2月	給食従事者・0歳児職員 職員全員

その他、必要に応じて臨時健康診断を行った。

3、処遇会議

職員会議	毎月1回	職員全員(事例検討会議)
乳児会議	毎月1回	0・1・2歳児・一時預かり職員
幼児会議	毎月1回	3・4・5歳児職員
支援センター会議	毎月1回	センター担当職員
アレルギー食会議	年2回	保護者・担任及び栄養士
保育指導検討委員会	随時	保育の指導内容の検討

4、福利厚生

ソウエルクラブ	全額 園負担
懇親会	園負担分については支払額の半額以上超えない
研修会	全額 園負担
慶弔費	就業規則に記載

5、研修報告

令和5年度 研修報告

月日	対象地域	主催	研修内容	対象
5月	南部地区	埼玉県保育協議会南部地区	総会及び研修会(危機管理研修)	園長
5月	ほよう会	会員園	新人研修研修会(ふじま幼稚園)	園長及び3年未満職員
6月	埼玉県	埼玉県保育協議会	養成委員会研修(障害の理解)	園長・職員
7月	関東地区	関東ブロック保育協議会	関東地区保育研究大会(横浜大会)	園長
9月	埼玉県	埼玉県保育協議会	初任者・中堅職員研修会	園長・職員
11月	南部地区	日本保育協会南部地区	南部地区研修会	園長・職員
1月	埼玉県	埼玉県保育協議会	新春研修会(こどもまんなか社会の理解)	園長
1月	埼玉県	埼玉県保育協議会	緊急研修会(虐待対応について)ZOOM	園長・職員
	埼玉県	埼玉県	保育士キャリアアップ研修	対象職員
開催月	和光市	和光市行政主体研修	和光市職員研修	対象職員

保護者

1、内定面接

- ① 和光市より内定の園児が通知された。
- ② こども園と内定者の保護者とで内定面接の日程を打ち合わせた。
- ③ 内定者と保護者に対して園長・主幹保育教諭がしおりをもとに面接をした。
- ④ 保護者に対して園の様子を説明したり、保育時間の確認をした。
- ⑤ お互いに問題がない場合は、園が和光市に対して、受託の決定を報告した。

2、受け入れ保育期間

基本的には1週間。

ただし、保護者勤務状況及び園児の体調を考慮し期間を変更した場合があった。

3、保育参加等

保育参加	年1回（年齢によって指定）その他希望者には相談により行った。
個人面談	年1回（年長9月、他の児童2月）

4、行事への参加

春の親子運動会、地域行事への参加、お遊戯会、お別れ会等への参加協力

5、保護者の行事へのお手伝い

運動会3歳以上の園児の保護者の方にお手伝いをお願いした。

災害対策

- 1、避難消火訓練毎月1回実施（別紙参照）
- 2、総合避難訓練(年2回)
- 3、防災設備の点検

地域社会との関連

- 1、近隣自治会行事への参加
- 2、小学校訪問
- 3、小学生の社会体験学習受け入れた
- 4、保育士・調理師・栄養士の養成校実習の受け入れた
- 5、ボランティアの受け入れを行った
- 6、民生委員様との交流
- 7、その他地域との交流の積極的な参加